



雪崩・地すべり 研究センターたより

季刊・第47号
2009 1月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事 ・年頭あいさつ ・トピックス（調査法及び研究成果普及研修会、テクノフェア出展、雪崩災害防止セミナー、国際会議）

明けまして、おめでとうございます。

— これからの時期、雪崩に注意しましょう！ —

昨年度は、岩手・宮城内陸地震による大規模な災害が発生し、当センターも技術支援を行いました。また、当センターの近隣地域でも、雪崩や地すべりが毎年発生しています。平成21年も、引き続き現場の対策に役立つ技術の開発、技術支援に努めて参りますので、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

さて、これから、積雪が多くなると、雪崩が発生する危険性が高まりますので、次のようなことにご注意ください。

1. 雪崩危険箇所をチェックしておきましょう。（新潟県のホームページなど）
2. 気象情報に注意し、これまでにないような大雪の時や、雪崩の前兆現象を発見した場合には、早めに避難しましょう。
3. 道路の通行規制に従いましょう。



新潟県妙高市三俣付近からの妙高山

（平成20年12月23日撮影）

雪崩には、表層雪崩と全層雪崩があります。表層雪崩は1～2月に数多く発生します。また、全層雪崩は、気温が上がって雪が解ける春先に数多く発生します。春先には、雪崩だけでなく地すべりの発生にも気をつけてください。

トピックス

■新しい地下水調査法の現地研修会

10月20日に、長野県土尻川砂防事務所管内の中条村下古沢地すべりで、加熱式地下水検層法の現地研修会を開催しました。

この現地研修会は、当センターが開発している加熱式地下水検層法と酸素溶解式地下水追跡法の現場への普及を目的に開催されたもので、長野県職員、新潟県職員をはじめコンサルタント会社の技術者に参加していただきました。

研修会では、丸山総括主任研究員が調査法の概要を説明し、鈴木研究員が調査に用いる機器の詳細な説明を行った後に、実際の調査

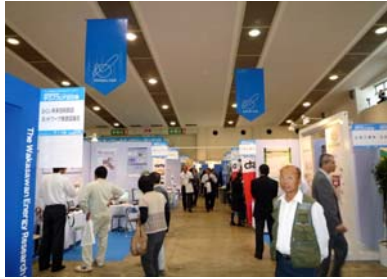
の様態を見ていただき、参加者と活発な意見交換を行いました。



■北陸技術交流テクノフェア 2008 に出展

10月23～24日に、北陸技術交流テクノフェア 2008 が福井県産業会館を会場に開催されました。

今年で19回目を迎えたこのフェアは、新技術・新製品等を幅広く展示・実演するもので、今回は福井、石川、富山の北陸3県を中心とした産学官183社・団体からの出展となりました。



雪崩・地すべり研究センターでは、丸山総括主任研究員が参加し、地すべり防止施設の維持管理に関する技術、地下水調査法に関する技術、雪崩観測映像について紹介しました。

■地震等による土砂災害の実態と対策に関する研修会

10月29日に、地震等による土砂災害の実態と対策に関する研修会が新潟県川口町を会場に、国、県、市町職員をはじめ民間コンサルタント技術者等48名の参加を得て開催されました。

研修会では、岡村譲 川口町長の挨拶の後、新潟大学丸井教授、川邊教授、土木研究所火山・土石流チーム山越主任研究員の発表に続き、当センターから石井所長、丸山総括主任研究員が発表を行いました。



当センターからは、地震による地すべりの危険度評価手法、新しい地下水調査法について報告しました。

■雪崩災害防止セミナー

11月25日に、青森県の青森市で雪崩災害防止セミナーが開催されました。このセミナーは、最近の雪崩災害の特徴と対策、最新の研究成果等について理解を深めることを目的とし、国、県、市町職員をはじめ民間コンサルタント技術者等約



130名の参加を得て開催されたものです。

セミナーでは、当センターの石井所長、青森県の工藤河川砂防課長の挨拶の後、岩手大学井良沢准教授の基調講演に続き、寒地土木研究所雪氷チーム松澤上席研究員らによる話題提供が行われました。当センターから伊藤研究員が「豪雪時における雪崩災害防止のための方策と最近の研究成果」に関して報告を行いました。

■AGU 2008 Fall Meeting

AGU（アメリカ地球物理学連合）2008年秋季発表会が、12月15～19日（現地時間）にアメリカのサンフランシスコで開催されました。当センターからは、ハスパートル研究員が「Geomorphological and geological factors of earthquake-induced landslides detected from two recent strong earthquakes in Niigata Prefecture, central Japan」と題して、中越地震

や中越沖地震による地すべりの発生条件について発表しました。

AGU 秋季大会は、地球・惑星科学の多分野における世界中の科学者が集まる大規模な学会イベントです。当センターの研究成果を発信し、地すべりに関する世界の研究動向の把握を行ってきました。



雪崩・地すべり研究センター職員一同(H21.1)



今年もよろしくお祈りします。

雪崩・地すべり研究センターに関する記事は、ホームページにも掲載しておりますので、ご覧下さい。

発行：独立行政法人 土木研究所 つくば中央研究所

土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター

住所：〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8

TEL:0255-72-4131 FAX:0255-72-9629 URL: <http://www.pwri.go.jp>

掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。